

やつしろ未来創造塾活動内容

やつしろ未来創造塾が目指す4つのゴール

- (1) “地方創生”を柱とし、**地域課題の解決とビジネスの両立=“CSV(共通価値の創造)”**を見出し、自社事業の強みや八代市が持つ地域の強み・魅力を活かした新たなビジネスプランを生み出す。
- (2) 様々な悩みを持つ者同士が集い、互いを知り、非日常の“場”においてチャレンジすることにより**新たな事業・新たな連携を創出**する。
- (3) 塾生が自ら考え、行動し、“稼ぐ力”を身につけることで、“**補助金施策**”からの**脱却**を目指す。
- (4) “八代モデル”の事業成功事例を一つでも多く創出することで、**本市の産業、特に若年層世代の事業主に新たな感覚を醸成**するとともに地域内経済循環の向上のきっかけとする。



1 講義

8月から12月にかけて、大学教授や他自治体職員、コンサルティング会社による講義などを行います。日本の“いま”の活きた最前線の情報をカリキュラムに盛り込み、塾生に感じ・知ってもらうことで、今後の事業の方向性に活路を見出すきっかけとします。



3 演習

最終プレゼンに向け発表を行い、地域課題と企業課題を同時に解決しているか、地域の強みを生かしているかなど、塾生同士で意見を述べ合い、ビジネスプランをよりよいものに仕上げます。

2 塾生ヒアリング

講義を終え、塾生がどのようなビジネスプランを作成するかヒアリングを行います。日本政策金融公庫と熊本県信用保証協会の協力のもと、作成したビジネスプランを実行する際に、どれくらいの資金が必要になるのかなど、より具体的なアドバイスをを行います。



4 最終プレゼン

修了式で行われる最終プレゼンでは、市長をはじめ、金融機関関係者、経済団体、大学教授などの前で自身のビジネスプランを発表しアピールを行います。

未来、創造。

八代の未来をみんなで作ろう



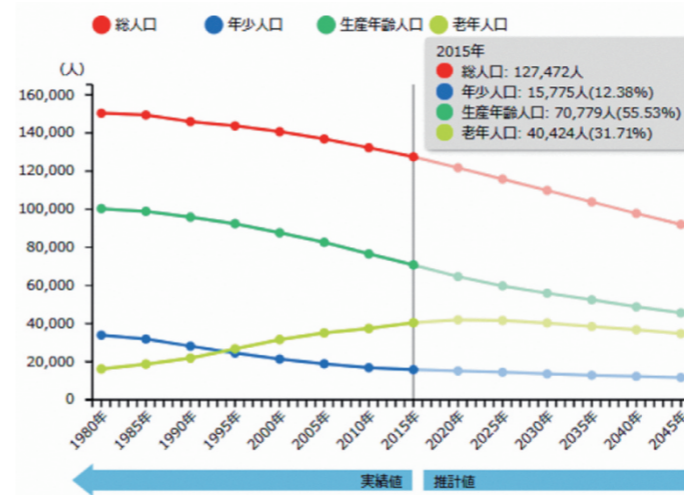
やつしろ未来創造塾

第一期生

写真：野尻 雄介さん(1期生)
レイアウト：宗守 真美さん(1期生)

表紙写真提供：野尻 雄介さん(1期生)

皆さんは「地方創生」という言葉を知っていますか。これは、人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中の是正を図ることを目的に国を挙げて取り組んでいる政策です。今回は、本市で取り組む地方創生の中から、地域課題の解決とビジネスの両立を目指すことを目的に熊本大学と連携して取り組んでいる「やつしろ未来創造塾」を紹介します。



八代市の人口推移と将来人口予想(図1)

特に、生産年齢人口(15歳から64歳)の減少は、本市の経済規模の縮小にも影響を与えています。

■本市の地方創生

本市では、人口減少と高齢化に歯止めをかけ、八代の未来を切り開いていくための根幹となる施策の方向性を共有するため、令和3年3月に「第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
この戦略では、I住みたいまち、II働きたいまち、III育てたいまちの3つの柱を基本とし、人口減少を抑制し、持続可能な地域社会を築くため、若者を中心に、多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできる「やつしろ」を目指しています。

■自ら考え、動く人材を育成する「やつしろ未来創造塾」

2010年から2015年の本市の人口推移では、5年間で4794人の減少、つまり年間約1000人のペースで人口が減っていることがわかります(図1)。
こうした中、本市では、現在意欲的に働いている若い世代を対象に、地域課題の解決に向けた新たなビジネスを創出できる場となる「やつしろ未来創造塾」を令和2年に開講。これまでに第1期生33名、第2期生計36名の塾生が地域で活躍しています。

■ 塾生インタビュー

選ばれるまちづくりを

やつしろ未来創造塾に参加したきっかけを教えてください

私は、古紙の回収や製紙会社への出荷などを行う会社に勤務しており、やつしろ未来創造塾第1期に参加した知人から「塾に参加すれば、新しい視点で仕事ができるようになるよ」と紹介され興味を持ったことがきっかけでした。塾の説明会での他の自治体の取り組みや成功例に感動し、「私もやってみたい」と参加を決定しました。

やつしろ未来創造塾に参加して得たものはありましたか

自分の勤める会社について、第三者の意見を聞くことができたこと、そして八代を元気にするために活動する仲間ができたことが大きな収穫になりました。塾の講師や同期生に、「こういうことはできないの？」「こういうことをしたらどう？」と提案を受けることで、新たなビジネスモデルを作ることもできました。そして塾生の皆さんの八代

をよくしていこうという熱意に感化され、仕事に情熱をもつて取り組むようになりました。

やつしろ未来創造塾3期生
南 英里さん
株式会社 南 専務取締役



最後に八代の皆さんにごみの分別でアドバイスはありますか

燃えるごみとして出してしまごみの中にも、リサイクルできるものはたくさんあります。ビニールに入って送られてくる冊子など、そのまま捨てずに分別してもらえればと思います。お子さんのいらっしゃる方は、一緒に分別し、子ども達が大人になった時には、分別をすることが当たり前前の社会にしていきたいです。

今後の夢や目標はありますか

パークビジネスなどでの街づくりにも携わっていきたいです。進学や就職で出て行った人達が、八代に帰ろうと思ってくれる魅力ある街づくりりたいです。



やつしろ未来創造塾での出会い

塾に参加したことがきっかけで知り合った方に、会社のホームページや動画を作成してもらいました。さまざまな分野の知り合いが増えることで、選択肢が広がることも塾のメリットだと思います。株式会社 南のホームページは5月31日から公開予定です。



ホームページを作成した
松井 海香さん(3期生)
株式会社MARUKU



株式会社 南 HP



紹介動画



動画を作成した
宮田 綾介さん(2期生)
やつしろテレビ

■ 塾生インタビュー

健康づくりで地域課題を解決

やつしろ未来創造塾に参加したきっかけを教えてください

私はパーソナルフィットネスジムを経営しており、自身の事業について多くの人に知ってもらえるチャンスだと思いいました。

やつしろ未来創造塾で最も印象に残った講義はなんですか

山鹿市にある株式会社パストラルの市原さんの講義「新しい里山農業のカタチ」が一番印象に残りました。



長鋤さんはパーソナルフィットネスジム「GREEN ROOM」の経営やトレーニング器具の販売などを行っています。多くの人の身体づくりのお手伝いをする、そして自分が60代になっても大好きなサーフィンが続けられるように身体づくりを続けることが目標と話します。



GREEN ROOM

た。市原さんはアイスクリーム工場を経営していますが、地元の食材を活かしたアイスクリームを作るために農業に参入、さらに商品に付加価値をつけるために洋菓子事業にも参入し、息子さんたちとともに会社を運営されています。地元の農作物をそのまま売るのはなく、加工し付加価値をつけることで稼ぐことのできる市原さんの取り組みは、自身の経営の参考になりました。実際に市原さんの会社を見学

やつしろ未来創造塾で作成されたビジネスプラン「60歳からのセカンダリライフ」について教えてください

加齢により筋肉量が減少することをサルコペニアといい、疲れやすくなるなどの体の衰えだけでなく、心の病気にもつながります。ジムには若い人が多く行きづらいため思っている人でも、個別指導を行うジムなので来やすく、健康寿命を伸ばすお手伝いができるのではないかと考え、ビジネスプランを作りました。健康寿命が伸びれば、働き手不足などの地域課題

解決につながると思います。今後は、60歳からのセカンドライフが八代じゅうに浸透し、

最後に八代の皆さんに健康づくりについてのアドバイスはありますか

朝からのジョギングや筋トレなどがおすすめです。朝から身体を動かすことにより、一日の充実感が増し、ポジティブになります。若い人は特に、朝が苦手な人も多いと思いますが、少しずつ運動を習慣化することで、慣れてくるので、ぜひ朝の時間を大切にしてください。

やつしろ未来創造塾3期生
長鋤 幸弘さん
株式会社 MAHALO 代表



ジムだけでなく、コミュニティセンターなどの施設でも筋トレなどの運動ができるようになればと考えています。

県内外の姉妹塾との協働

現在、県内には6つの塾が立ち上がっています。県内で最初に開講したやつしろ未来創造塾は、姉妹塾の立ち上げ支援や地域課題の情報共有など、県内外で運営されている塾とも連携しながら地方創生に取り組んでいます。



あそ未来創造塾で講師を務める松嶋純也さん(1期生)



令和4年に開催した姉妹塾の塾生合同講義

事業化事例の紹介

小・中・高専門のICT塾を開業



福原 健さん(1期生) office Glean

八代の若者のICT能力が向上することで、地元企業が求めるICT人材の育成と自社企業の課題である人材不足の解消につなげるビジネスプランとして、学生を対象とするICT塾を発表し、令和3年から運営しています。



やつしろ 未来創造塾 第4期生募集



写真:野尻 雄介さん(1期生) レイアウト:宗守 真美さん(1期生)

1. 求める塾生

- ・地域資源等を活用する“新たな事業”にチャレンジする人材
- ・新たな事業展開を自ら考える意欲ある人材

2. 受講期間及び時期

- (1) 令和5年8月中旬から令和6年2月下旬
- (2) 概ね2週に1度 毎週火曜日14時～17時 全14回程度開催(開講式・修了式含む)

3. 開催場所

市役所本庁会議室など

4. 応募対象者

- (1) 意欲のある若手事業者等(農林水産業含む)
※20歳～40歳までの人
- (2) 市内で事業を実施されている人(事業承継を検討されている人を含む)

- (3) 全ての講座を受講できる人(やむを得ない場合を除く)
- (4) Eメール及びLINEによる連絡、パソコン操作ができる人、ZOOMでWEB会議が可能な人

5. 募集人数

定員10人程度 ※決定にあたっては書類審査があります

6. 参加費用

受講料 10,000円/期(税込)

7. 募集期間及び応募方法

募集期間 令和5年6月1日(木)～23日(金)
詳しくは市ホームページを確認ください。
問合せ 商工・港湾振興課 ☎33-8513

創造の先へ 塾生の取り組みを紹介



■商店街夜市出店

～地元との“関わり”で地域活性化に～
【未来創造塾第2期生メンバー】

2期生メンバーで本町アーケードの夜市に出店。自分たちが生産する珍しい品種のトマトや東陽町で採れたイチゴを使ったジュースなどを販売し、多くの来客でにぎわいました。一人ではできなくても塾生同士が集まることで新しいことへのチャレンジや地域と関わることで地元の活性化にも繋がります。

■イロハMUSIC FES

～若者の夢を全力で応援～

【未来創造塾第2期生 堀田 成志さん】

県内外の22歳以下アーティスト限定によるミュージックコンテストをお祭りでもん館で開催。参加した高校生らは、自分たちが伝えたい思いを歌詞に込めたオリジナル曲を熱唱し、当日は、他の塾生もキッチンカーを出店し、会場を盛り上げました。スタッフのほとんどが地元八代の若者で運営し、若者にとって“魅力ある八代”を自分たちでつくっていきます。



■e-スポーツを体験しよう! 地域ふれあいマルシェ

～子どもから高齢者までつながる地域に～
【未来創造塾第3期生】

片山 渉さん・長鋤 幸弘さん】

運動が苦手、部活で思うように活躍できない、そんな子どもたちが新たに活躍できる機会を創る「e-スポーツマルシェ」を鏡町の店舗で開催。e-スポーツの魅力を伝えるとともに、新鮮な野菜やフルーツ、ハンドメイド、未来創造塾生のキッチンカーなど、家族みんなで楽しめるマルシェになりました。“子育てが楽しい!”、そんな地域にしたいという思いで今後もイベントに取り組んでいきます。